

「しごと」分野

政策  
5

魅力を最大限いかした観光・交流の促進

東日本大震災・原子力災害により大きく減少した本県の観光客入込数は、回復傾向にあるものの、震災前の水準まで回復していない状況です。

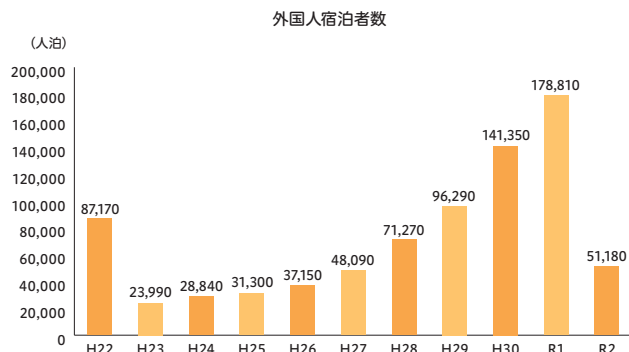
本県が有する観光資源の魅力発信や教育旅行誘致等に加え、「復興に向き合う人」と「福島のありのままの姿（光と影）」に焦点を当てるホープツーリズムなど、他県にない特色あるコンテンツを更に磨き上げる必要があります。

一方、外国人観光客は、宿泊者数が震災前を超えるなど着実に回復してきましたが、全国的な訪日外国人客増の流れには追いついていない状況から、更なる誘客に向けた取組を進めていくとともに、海外での風評払拭を図るため、国際会議やイベント等の誘致を促進するほか、海外のインフルエンサーやメディアを通じた世界への発信を継続しながら、県内の受け皿や実施体制を充実することが必要です。

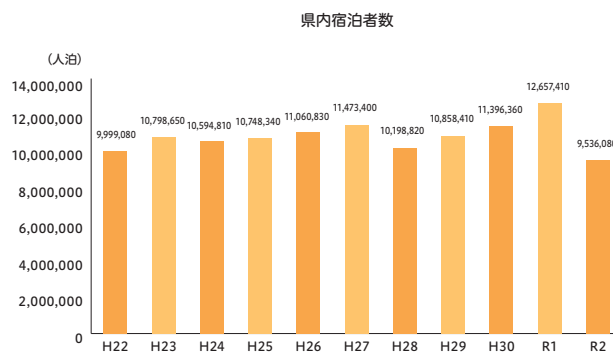
また、新型コロナウイルス感染症が観光業に多大な影響を及ぼしており、新たな観光スタイルとして、休暇と仕事を兼ねたワーケーションや地産地消的近隣観光であるマイクロツーリズムの推進など、ウィズコロナにおける対応が急務となっています。



教育旅行



出典：国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」



出典：国土交通省観光庁「宿泊旅行統計調査」

## 施策

## 1

## ふくしまの地域資源の磨き上げ及び魅力発信による誘客の拡大

ホープツーリズムや被災地域への観光誘客等福島県ならではの観光による誘客や教育旅行の誘致を図ります。  
また、地域資源をいかした取組や資源の創出・磨き上げを進め、観光の促進を図ります。



## 【主な取組】

## ①福島県ならではの観光誘客に関する取組

主体的・対話的な学びを実現するホープツーリズムや、本県の多様な資源を活用した被災地域への観光誘客等を推進します。

## ②教育旅行・合宿の誘致促進に関する取組

学習プログラムの磨き上げと情報発信により、教育旅行の誘致を推進します。あわせて、関係施設との広域連携により受入体制を整備し、合宿誘致を図ります。

## ③新たな滞在型観光・広域観光周遊推進の取組

新型コロナウイルスを踏まえた新たな観光やグリーンツーリズムを始めとした地域資源をいかしたコンテンツ、テーマ別観光コンテンツの育成を図り、滞在型観光・広域観光周遊を推進します。

## ④地域資源をいかした滞在型コンテンツやイベントによる観光促進の取組

自然公園やJR只見線等の地域資源の磨き上げと魅力発信に取り組むほか、誰もが快適に自転車を利用できる自転車走行空間を整備するなどサイクルツーリズム（自転車観光）推進による観光地域づくり等を進めます。

## 施策

## 2

## インバウンド促進に向けた観光の強化

正確な情報発信や積極的なプロモーション活動により本県のイメージアップを図り、外国人観光客の誘致を強化するほか、福島空港の利活用促進や海外からの教育旅行の誘致を進め、外国人の誘客促進を図ります。



## 【主な取組】

## ①本県のイメージ回復と外国人観光客の誘致に関する取組

現地窓口や海外マスメディアと連携した正確な情報発信や積極的なプロモーション活動により、本県のイメージアップと外国人観光客の誘致を促進します。

## ②広域的な外国人観光客の誘致に関する取組

関東都県や東北観光推進機構などと連携して、観光コンテンツのテーマに応じた広域的な周遊ルートを発信して、外国人観光客の誘致を促進します。

## ③海外からの教育旅行誘致に関する取組

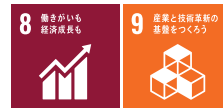
東アジア地域を始めとしたアジア地域などからの教育旅行の誘致を推進します。

施策

3

多様なニーズに対応する観光地・受入環境づくりの推進

県内観光産業のサービスの質向上を図るとともに、外国人観光客の受入体制の強化や多様なニーズに対応した施設整備の支援などにより観光地・受入環境づくりを推進します。



【主な取組】

①県内観光産業のサービスの質向上に関する取組

関連事業者連携の観光・教育旅行コンテンツ造成等により、観光産業のサービスの質向上を図ります。

②外国人観光客の受入体制の整備や多様性への対応に関する取組

観光地やその周辺地域の多言語表記や Wi-Fi 整備、福島地域通訳案内士の育成など、外国人観光客の受入体制を強化します。

また、休暇と仕事を兼ねたワーケーション等に対応する施設整備を支援します。

③国際化に対応した標識に関する取組

国際化に対応した分かりやすい標識の整備を進め、外国人観光客の受入環境づくりを推進します。

施策

4

国際交流の推進

県内大学と海外大学の留学生の交換や県と海外との様々な交流、国際会議の誘致など国際交流を推進します。

また、複合災害を経験したふくしまの知見をいかした国際協力・国際貢献に取り組みます。



【主な取組】

①県内大学と海外大学との交流に関する取組

会津大学、県立医科大学において、海外大学との共同研究、国際単位認定 (ICRP)、留学生の交換などを行います。

②国際会議の誘致に関する取組

関係機関と連携して、国際会議（ミーティング、視察研修旅行、イベントを含む）の誘致を推進するとともに、大学や国際教育研究拠点、民間団体などが主催する国際会議等の開催を支援します。

③国際協力・国際貢献に関する取組

複合災害を経験したふくしまの知見をいかし、関係機関との連携を図りながら復興へのプロセスを世界と共有することにより、国際協力・国際貢献に取り組みます。

④県と海外との様々な交流事業に関する取組

長年交流を重ねてきた中国、カナダ、ニュージーランドなどの地域との交流事業に取り組むとともに、県人会など多様な人的ネットワークを活用し、海外へ「ふくしまの今」に係る情報発信を推進します。

## 基本指標（成果指標）

## &lt; 政策 5 &gt;

## 魅力を最大限いかした観光・交流の促進

観光客入込数（再掲）	< 現況値 > < 目標値 >	36,191 千人 ↑ <b>60,000</b> 千人	(R2 年) (R12 年)
------------	--------------------	---------------------------------	-------------------

## &lt; 施策 &gt;

ふくしまの地域資源の磨き上げ及び魅力発信による誘客の拡大			
県内宿泊者数	< 現況値 > < 目標値 >	9,536 千人泊 ↑ <b>14,500</b> 千人泊	(R2 年) (R12 年)
観光消費額（観光目的の宿泊者）	< 現況値 > < 目標値 >	120,370 百万円 ↑ <b>145,000</b> 百万円	(R 元年) (R12 年)
浜通りの観光客入込数	< 現況値 > < 目標値 >	7,051 千人 ↑ <b>16,200</b> 千人	(R2 年) (R12 年)
福島県教育旅行学校数	< 現況値 > < 目標値 >	6,941 校 ↑ <b>8,100</b> 校	(R 元年度) (R12 年度)
インバウンド促進に向けた観光の強化			
外国人宿泊者数（再掲）	< 現況値 > < 目標値 >	51,180 人泊 ↑ <b>300,000</b> 人泊	(R2 年) (R12 年)
国際交流の推進			
MICE（国際的な会議等）件数	< 現況値 > < 目標値 >	28 件 ↑ <b>60</b> 件	(R2 年度) (R12 年度)

## 補完指標

（指標名）	（現況値）		（目標値）	
◆ 「ふくしまの地域資源の磨き上げ及び魅力発信による誘客の拡大」 関連				
・ ホープツーリズム催行件数	R2 年度	63 件	R12 年度	130 件
・ 国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）があると回答した県民の割合（意識調査）（再掲）	R3 年度	54.8% ※速報値	R12 年度	78.0% 以上